

第3・4学年 総合的な学習の時間学習指導案

日 時 令和2年11月27日(金) 第3校時
場 所 第3・4学年フロア
指導者 T1:山田 亮 T2:酒井 里美

1 単元名 ユネスコエコパークのまち只見の水と海

2 単元の目標

只見町の豊かな自然や水について調べることを通して、只見町のよさを感じ、自分が今後、どのように関わって生きていくかについて考え、自分の言葉で表現したり、実践したりすることができる。

3 単元について

(1) 児童の姿 (3学年 男子6名 女子5名, 4学年 男子5名 女子0名 計16名)

昨年度は、3学年は生活科で町たんけんや学校行事等と結びつけながら、只見町の自然の豊かさに触れ、水がきれいなこと、水が豊富であることに気付き、絵地図にまとめることができた。また、4年生は、昨年度、只見の四季について調べたり体験したりすることを通して、ブナの木の大切さに気付き、これからも守りたいという思いを歌詞に表現し発表することができた。

今年度は、3・4年生が合同で総合的な学習の時間を意欲的に行っている。話し合う場面では、4年生が3年生に教えるという場面も見られ、合同学習のよさを感じている。

5月に実施した「海洋教育アンケート」では、全員が「只見町が好き」と答えた。その理由も「自然が豊かであること。」「水がきれいであること」をあげた児童が多かった。しかし、4年生は社会科の「住みよいくらしをつくる 水はどこから」の学習において、浄水場、下水処理場の見学を行って、生活排水が流し込まれ、川の水が汚かった時代があることに気付くことができた。

(2) 単元のとらえ (※海洋教育としての視点)

本単元は、継続して行っている水質検査および水生生物の調査の結果から只見町の水の美しさや自然の豊かさに気付き、自分たちはその自然を守るために何ができるかを考え、実行することができるようになることがねらいである。

1学期には、下福井観察の森、三石神社の清水、三石神社近くの堀の水質検査および水生生物等の調査を行い、2学期には、1学期に水質検査をした場所に加えて、ふるさと登山で行った尾瀬沼、伊南川の水質検査および水生生物等の調査を行った。子どもたちは、サワガニやニンギョウトビケラの幼虫など、きれいな水にいる指標生物の観察を行うことができた。そして、季節によって水質が変わることがないことに気付くことができた。

本単元では、只見町の水についてさらにさまざまな視点から捉えられるようにする。そのために、まず、水質検査の結果と水生生物の調査を結びつけて考えさせる。また、祖父母に昔の只見町の様子をインタビューしたり、アンケートを取ったりして、今と昔の只見町の自然を比較し、変化していることにも気付かせる。最終的には、今後只見町の自然をどのようにしていきたいかを考え、実践につなげていく。

(3) 教師のわがい

本単元では、子どもたちにこれからも過ごしていく只見町の豊かな自然を守っていこうとする気持ちを育てていきたいと考えた。

そこで本時では、まず、ゲストティーチャーの話を聞き、只見町の自然の課題に気付かせ、自分が自然のためにできることを考えるきっかけにしたい。そして、ゲストティーチャーに直接質問をしたり、アドバイスをいただいたりして、様々な視点から只見町のためにできることを考えることができるようにしたい。最後には、今まで調査したことやゲストティーチャーの話などから根拠を明確にして、自分が只見町の自然のために何ができるかを考えさせたい。

4 指導計画と評価規準（総時間16時間 本時11/16）

次	主な学習内容	時数	評価規準および評価方法
7	水質検査や生物調査の結果をもとに課題を設定する。	1	イ 自分がさらに調べたいことを考えることができる。 (ワークシート)
	グループごとに課題解決のための計画を立てる。	1	ウ グループごとによりよく課題を解決できる方法を考えることができる。 (ワークシート)
	グループに分かれて調べ学習を行い、課題を解決する。	4	ア 自分たちの課題について、様々な方法で調べ、解決することができる。 (ワークシート)
	発表の仕方を工夫しながら調べたことをまとめる。	2	ウ 自分たちでまとめたものを相手にわかりやすくするにはどうすればいいかを考えることができる。 (観察)
	グループでまとめたものを共有し合い、感想を交流する。	2	ウ 自分たちでまとめたものを相手にわかりやすく表現することができる。(観察)
	前時の感想を振り返り、これからの只見町の自然を守るために何ができるかを考える。	1 (本時)	エ 只見町の自然を守るために自分たちには、何ができるかを考えることができる。 (ワークシート)
	具体的な計画を立て、実践のための準備をする。	2	ウ 自然のためにできることを決定し、計画を立てることができる。 (ワークシート)
	只見町の自然を守る取り組みを実践する。	2	ウ 自然を守る活動をすることができる。 (観察)
	実践した感想を交流し合い、これから自分たちにできそうなことを考える。	1	ウ 自然を守る活動を通して、自分と身近な環境との関わりを見なおそうとしている。 (ワークシート)

〈評価の観点〉

ア よりよく問題を解決する。

イ 学び方やものの考え方

ウ 主体的、創造的、協同的にとりくむ態度

エ 自己の生き方

5 4つの視点から見た他教科との関連（A知識の深化 B技能の活用 C価値の醸成 D行動の変容）

関連場面	教科等	単 元	内容と視点との関連
第7次	国語	山小屋で三日間すごすなら (3年)	B グループで話し合う方法、意見のまとめ方を知ることができる。
		班で意見をまとめよう (3年)	
	社会	住みよい暮らしをつくる (4年)	AD 浄水場・下水処理場・ゴミ処理場の見学を通して、環境を守る活動を知ることができる、環境を守ろうとする心情を育てることができる。
	理科	雨水の様子と地面の様子 (4年)	A 雨が降った後の水の様子を観察することで雨水の行方を知ることができ、川や海とつながっていることを実感することができる。

6 研究にせまるための本時の手立てについて

(1) 研究内容②「地域の特色を生かす素材の教材化」

只見町の自然に詳しい方をゲストティーチャーとして招き、これまでの活動を生かして、子どもたちにアドバイスをいただき、より広い視野で環境を守る活動を考えることができるようにする。

(手立て1)

7 本時について

(1) 目標

自分たちが調べたことやゲストティーチャーの話を根拠にして、只見町の自然のためにできることを考えることができる。

(2) 展開

	学 習 活 動 ・ 内 容	時間	○指導上の留意点 評価
つ か む	1 前時の感想を振り返る。 2 ゲストティーチャーの話を聞き、めあてをつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 只見町の自然のためにどんなことができるかな。 </div>	3 7	○ 各グループの資料を基に気付き、感じたことを引き出し、キーワードを板書することで本時の学びに生かすことができるようにする。 ○ 子どもたちが、自分にできることを考えるきっかけとなる課題や根拠となる事実、実際の取組について話していただくことで、本時のめあてをもつことができるようにする。
さ ぐ る	3 自分ができる実践を考える。 ・ ゴミのポイ捨てはしない。 ・ 環境にやさしい石けんを使う。 ・ エコバックを利用し、プラスチックゴミを少なくする。 ・ 只見町の自然のすばらしさを伝える。 ・ ポスターなどを作り、自然を守ることを呼びかける。 4 グループで互いの考えを共有し、いくつかにまとめる。	5 15	○ T1,T2,ゲストティーチャーで机間巡視を行い、考えが持てている子どもには根拠を問いかけていく。また、考えられない子どもには、自分たちの発表やゲストティーチャーの話を振り返るようにするなど個別に対応することにより、子ども一人一人が自分なりの考えを持つことができるようにする。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> 只見町の自然のためにできることの自分の考えを出すことができたか。 (ワークシート) </div> ○ 話し合う際にどうしてそのように考えたのか、それをやるとどうなるのかなど視点を確認することで、一人一人の考えを尊重しながら、グループとして提案する実践を考えることができるようにする。
ふ か め る	5 全体で各グループの考えを伝え合う。	10	○ グループでまとめた実践について根拠を持って考えられていることを価値付けたり、また、根拠を問いかけたりすることでこれまでの学びを生かして考えることができるようにする。

ひろめる	<p>6 本時の学びを振り返り,次時の活動を確認する。</p> <p>(1) ゲストティーチャーの話を聞く。</p> <p>(2) 次時の見通しをもつ</p>	<p>3</p> <p>2</p>	<p>○ ゲストティーチャーに子どもたちが考えた実践のよさを賞賛していただくことで本時の学びが意味付くようにする。</p> <p>○ 子どもたちが考えた実践を行うことで只見町がどうなっていくかを問いかけ,よりよくなったイメージを持たせ,期待を高めることで意欲を高めることができるようにする。</p>
------	---	-------------------	---